

太陽石油株式会社



2023.01

この星と人のチカラに。

Corporate Brochure

SOLATOは  
未来を創るために挑戦し続けます



の ら れ た 想 い

をイメージし、太陽石油の  
新ブランド名として命名  
は、太陽と地球と明日に

この星との「共存共栄」を  
という言葉に、総合エネル  
想いが込められています。  
世界はもっと楽しく、強く、  
よくしていくために。

す。  
独自の発想とチャレンジ

られた想いを胸に、"総合  
てまいります。 太陽石

と、明日を意味する  
す。

ひとりが  
ちで

精神である「社是」の精神に則り、企業として価値観を「企業理念」として制定しております。向けて企業活動を実践するにあたっての指針」を定めております。

太輝 <

わたしたちは、総合エネルギー企業として、地球環境との調和を図り、安心と安全を提供する豊かな社会づくりに貢献します。

わたしたちは、事業活動を通じて、社会のみなさまとの融和を図り、積極果敢な挑戦による新たな価値を創造し、持続的に成長する企業を目指します。

太陽石油社 次

安全操業 職場と地域の安全を最優先し、安全・安定操業に努めます。

環境保全 環境負荷の低減と省資源・省エネルギーに努め、地球環境の保全に取り組みます。

**地域貢献** 良き企業市民として、地域の発展に貢献します

顧客満足度を高品質の製品を安定的に提供し、顧客の満足と信頼を獲得します。

個人尊重：社員一人ひとりを尊重し、働きがいのある職場を提供します。

社会順応 法令や社会・社会規範を順応し、良心に従って行動します

<sup>10</sup> 本社金子の「アーティストとしての透明性」を図り、事業活動の透明性を重視する方針。

## 一貫操業体制を確立し、持続的な成長を目指します。

太陽石油は、石油の輸入から石油製品及び石油化学製品の製造・販売にいたる  
“一貫操業体制”を確立して、持続可能な経営を実現する企業を目指しております。

### 輸入



環境に優しい  
低硫黄原油を中心  
に輸入。

私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできない石油の多くは、中東や東南アジア等の産油国から、大型タンカーにて日本に輸入されます。太陽石油では、サウジアラビア、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、ロシア等の様々な産油国から、環境に優しい低硫黄原油を中心に輸入し、安全に四国事業所へと運んでおります。

### 精製・製造



良質で、  
環境に優しい製品を。

太陽石油では、多様な石油需要に応えるべく、常に高品質で環境に優しい石油製品及び石油化学製品を生産し、安全かつ安定的に製品を供給するよう、日夜努力を続けております。四国事業所、山口事業所の両事業所では、ISO9001(品質マネジメントシステム)及びISO14001(環境マネジメントシステム)を取得しており、品質確保・維持並びに環境に配慮した操業に努めております。

### 供給



安全・安定的に供給する使命。

太陽石油はお客様の様々なニーズに応えるため、地球に優しい製品を安定供給しております。毎日の暮らしのためだけでなく、産業活動の中でも広く活用される石油製品を、安全・確実にお客様へお届けするため、生産設備の増強・合理化、流通施設の設備拡充に取り組み、安定供給に万全の体制で取り組んでおります。

### 販売



質の高いサービスを提供。

太陽石油は、お客様に選ばれ、満足していただけるサービスを提供できるよう、あらゆるシーンでお客様目線の付加価値サービスを実行できる人財を育て、顧客満足を実践するSOLATOサービスステーションづくりに積極的に取り組んでおります。

## 太陽石油が運んでいるのは、「安心」です。

環境に優しい低硫黄原油を中心  
に輸入しています。

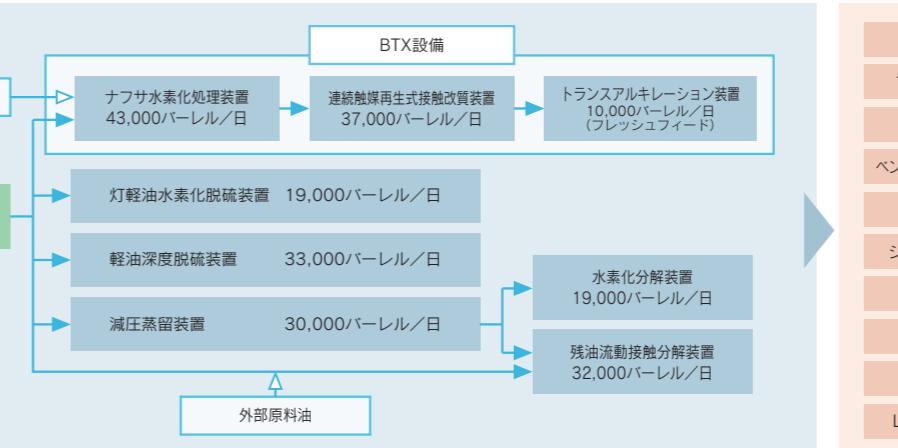


太陽石油は、サウジアラビア、マレーシア、ブルネイ、インドネシア、ロシア等から、環境に優しい低硫黄原油を中心にしており、効率的かつ安全な輸送を心がけております。

## 四国事業所／石油精製設備



## 精製概略フロー



## 四国事業所 精製・製造能力

## タンク基数及び貯油能力

原油タンク	9基	638,406kL
製品・半製品タンク	69基	524,535kL
(内石油用製品タンク)	(4基)	(37,563kL)
スロップタンク	4基	18,691kL
自家燃料タンク	3基	2,150kL
LPGタンク	13基	11,862t
溶融硫黄タンク	2基	2,340,000kg
合計	99基	11,862t
		2,340,000kg

## 精製能力 138,000バーレル(21,942kL)/日

第一常圧蒸留装置	1基	106,000バーレル(16,854kL)/日
第二常圧蒸留装置	1基	32,000バーレル(5,088kL)/日
減圧蒸留装置	1基	30,000バーレル(4,770kL)/日
水素化分解装置	1基	19,000バーレル(3,021kL)/日
水素回収装置	1基	1,036,800Nm <sup>3</sup> /日
灯軽油水素化脱硫装置	1基	19,000バーレル(3,021kL)/日
軽油深度脱硫装置	1基	33,000バーレル(5,247kL)/日



常圧蒸留装置

減圧蒸留装置で残渣油から分離された減圧軽油を、水素ガスと混合し、高温高圧雰囲気で触媒と反応させ、高品質のナフサ・灯油・軽油を製造します。

水素化分解装置

原料であるナフサに水素化処理や接触改質を行って、得られた改質油を蒸留、抽出、トランスアルキル化することで、ベンゼン・キシレンを製造します。

BTX設備

原料であるナフサに水素化処理や接触改質を行って、得られた改質油を蒸留、抽出、トランスアルキル化することで、ベンゼン・キシレンを製造します。

常圧蒸留装置

原油を蒸留し、LPG・ナフサ・灯油・軽油・残渣油の各留分に分離します。

## BTX設備

ナフサ水素化処理装置	1基	43,000バーレル(6,837kL)/日
連続触媒再生式接触改質装置	1基	37,000バーレル(5,883kL)/日 (内石油用 19,000バーレル/日)
芳香族蒸留装置	1基	34,500バーレル(5,486kL)/日
芳香族抽出装置	1基	11,000バーレル(1,749kL)/日
水素回収装置	1基	2,054,400Nm <sup>3</sup> /日
トランスアルキレーション装置	1基	10,000バーレル(1,590kL)/日 (フレッシュフィード)
第二芳香族蒸留装置	1基	19,000バーレル(3,021kL)/日

## RFCC設備

残油流動接触分解装置	1基	32,000バーレル(5,088kL)/日
プロピレン精製装置	1基	7,100バーレル(1,129kL)/日
アルキレーション装置	1基	7,200バーレル(1,145kL)/日
分解ガソリン脱硫装置	1基	17,000バーレル(2,703kL)/日

## 山口事業所／石油化学製品製造設備

## 山口事業所製造能力

## 製造設備

エチルベンゼン製造装置	1基	397,000t/年(公称能力)
スチレンモノマー製造装置	1基	370,000t/年(公称能力)

## タンク基数及び貯油能力

ベンゼン	2基	9,800㎘
スチレンモノマー	3基	17,900㎘
エチレントンク(冷却設備含む)	1基	2,900㎘



山口事業所は、一系列としては国内最大級の生産を誇るスチレンモノマープラントです。原料であるベンゼンとエチレンを反応させ、エチルベンゼンを製造。製造されたエチルベンゼンを脱水素反応させ、高品質のスチレンモノマーを製造しています。高度な技術を駆使して、徹底的な自動化を図ることで少人数による効率運転を実現しています。

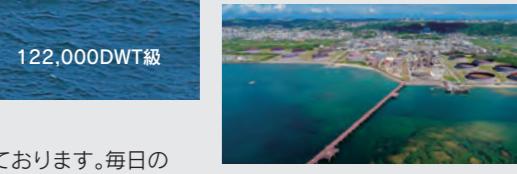


## 総合エネルギー企業として、「社会」をしっかり支える。

太陽石油は、お客様のニーズに応え、国内はもとより海外にも輸出しております。



太陽石油はお客様のさまざまなニーズに応えるため、地球に優しい製品を安定供給しております。毎日の暮らしのためだけでなく、産業活動の中でも広く活用される石油製品を、安全・確実にお届けするため、生産設備の増強・合理化、流通施設の設備拡充に取り組み、安定供給に万全の態勢で取り組んでおります。



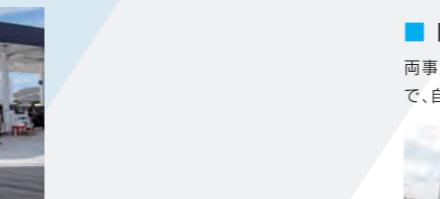
## お客様との絆を育み、新たな価値を展開。

お客様に選ばれ、支持されるサービスステーションづくりに取り組んでいます。

フルサービスでもセルフサービスでも、接客サービスの基本となるのは、サービスステーションのスタッフに変わりありません。お客様からの評価を獲得し、満足していただくためには、質の高い接客や、幅広い提案力が必要です。あらゆるシーンでお客様目線の付加価値サービスを提供し、顧客満足を実現できるSOLATOサービスステーションを目指していきます。



各種研修会・勉強会を通したサービスステーションスタッフの人財育成や販促活動による系列SSの販売サポートなど、顧客満足を実践するサービスステーションづくりに取り組んでいます。



## 当社は、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献します。

### 安全への取り組み

#### 安全・安定操業が経営の基盤

「安全第一」「人命尊重」を基本に、あらゆる事故並びに災害の未然防止に努めます。

#### ■ 保安管理システム

両事業所では、高圧ガス保安法に基づく「保安管理システム」を構築し、自主保安体制の強化を図っています。また、様々な安全管理活動を通して事故や災害の芽を事前に摘み取り、より安全な職場づくりを進めています。

#### ■ 労働安全衛生マネジメントシステム

##### ISO45001認証取得(四国事業所)

認証取得日	2002年3月22日
認 証 機 関	高圧ガス保安協会 ISO審査センター

##### ISO14001認証取得(山口事業所)

認証取得日	2020年1月31日
認 証 機 関	高圧ガス保安協会 ISO審査センター

四国事業所では、労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、ISO14001の認証を取得しています。

#### ■ 防災組織

両事業所では、自衛防災組織を設置しています。定期的に防災訓練を行うことで、自衛防災隊の迅速な防災体制の確立と、防災活動の習熟を図っています。



消防隊による泡放水消火活動

防災センターと化学消防車群

#### ■ 現状の取り組み

- ・合弁会社「SDTソーラーパワー株式会社」設立
- ・LEシステム株式会社への出資及び同社との業務提携に関する基本合意書締結

## 新規事業への取り組み 持続可能な事業創造と仕組みの確立

### 地域・社会貢献活動

#### 社会、地域のためにできること

太陽石油は、総合エネルギー企業として広く社会に貢献できるよう、地域に密着した活動を実施しています。

##### 11 住民参加型清掃活動

両事業所では、社員有志による事業所周辺の道路等の清掃活動を積極的に行っております。

#### 事業所周辺の清掃活動



##### 11 住民参加型清掃活動

高知県及びいの町と「協働の森づくり事業」、愛媛県及び今治市と「森林づくり活動」協定を締結。太陽石油が活動する森をそれぞれ「太陽が育む森」と名付け、森林整備活動を通じて、環境保全や地域の皆様との交流を行っています。

#### 11 太陽が育む森



##### 1 1 愛媛大学基金奨学金 「太陽石油奨学金」

当社は、国立大学法人愛媛大学と連携し、同大学の学生の経済的負担を軽減し、学業に専念できるような環境づくりの支援を目的とした給付型奨学金「太陽石油奨学金」を創設しました。本奨学金制度は、当社から同大学への寄付金を原資として運用されており、選ばれた学生には年間授業料相当額が給付されます。

## 社会の暮らしを支える挑戦は110年を越え、さらに新しい未来へ。

当社は、社会インフラ機能維持になくてはならない石油・石油化学製品を取り扱う企業として社会の皆様の生活を支えるという重大な責任を負っていると同時に、安全、環境問題については、常に社会の皆さまから厳しい評価をいただく立場にあると認識しています。エネルギー供給における社会機能維持者としての企業の社会的責任を追求しながら、企業理念のもとでこれからもさまざまなステークホルダーの皆様に支持される企業を目指して参ります。

### 創成期 当社の前身である青木石油店の創業から太陽石油の設立まで 1908~1943

1908年 (明治41年)	9月 初代 青木繁吉が高知県高岡郡(現土佐市)で青木石油店を創業
1915年 (大正4年)	2月 愛媛県八幡浜市に移転
1918年 (大正7年)	1月 ライジングサン九州西戸崎製油所から原料供給を受け灯油精製を開始
1923年 (大正12年)	8月 ヘッグマン蒸留釜で石油精製開始
1930年 (昭和5年)	5月 青木石油株式会社に改称 資本金2万円
1938年 (昭和13年)	10月 工場を愛媛県越智郡亀岡村(現四国事業所)に移転
1941年 (昭和16年)	2月 青木石油・ミカド製油・松岡石油の精製部門を統合、太陽石油(株)を発足 東京市芝区三田豊岡町に本社設置 資本金100万円
1943年 (昭和18年)	7月 本社を愛媛県八幡浜市に移転 資本金を400万円に増資

### 戦後復興期 本格的な自主生産の開始時期 1949~1964

1949年 (昭和24年)	12月 GHQより太平洋岸製油所の再開許可あり、石油精製再開に向け設備建設に着手
1951年 (昭和26年)	2月 石油精製が許可され、シェル石油より500バーレル/日を受託し精製開始
1953年 (昭和28年)	7月 資本金を4,800万円に増資 自社精製開始

1958年 (昭和33年)	10月 わが国初のゾ連原油輸入
1964年 (昭和39年)	6月 青木良作が二代目社長に就任 資本金を5,200万円に増資 9月 わが国初のルーマニア原油輸入 11月 常圧蒸留装置59,000バーレル/日に認定
	
	二代目社長 青木良作

### 成長期 製油所の高度化事業が本格的にスタートした時期 1965~1991

1965年 (昭和40年)	9月 青木繁良が三代目社長に就任
1967年 (昭和42年)	7月 資本金を1億円に増資
1969年 (昭和44年)	4月 石油連盟に加盟
1970年 (昭和45年)	12月 資本金を4億円に増資
1974年 (昭和49年)	9月 常圧蒸留装置設備能力69,000バーレル/日に増強
1975年 (昭和50年)	7月 菊間製油所(現四国事業所)JIS表示許可工場となる
1976年 (昭和51年)	7月 90日石油備蓄体制確立
1977年 (昭和52年)	1月 マレーシア国営石油会社(ペトロナス)と、わが国初のDD原油取引開始
1979年 (昭和54年)	10月 シンガポールに現地法人太陽インターナショナルプライベートリミテッドを設立
1981年 (昭和56年)	11月 現本社所在地(東京都千代田区)に移転
1982年 (昭和57年)	3月 石油地下備蓄実証プラントが菊間製油所構内に完工、当社が実証運転を担当

1983年 (昭和58年)	9月 常圧蒸留装置4,000バーレル/日減少処理し、設備能力65,000バーレル/日に
1986年 (昭和61年)	3月 アンゴラ海上鉱区開発プロジェクトに資本参加 11月 マレーシア海上鉱区開発プロジェクトへ参加
1991年 (平成3年)	6月 原油船「第一太陽丸」(88,543DWT)就航 BTX製造設備完成・稼動により石油化学分野に進出 12月 プロダクト(製品)船「第二太陽丸」(58,950DWT)就航
	
	二代目社長 青木良作

### 発展期 特石法廃止に伴う業務拡大期 1996~2019

1996年 (平成8年)	7月 本社機能の一部移管に伴い、菊間製油所を四国事業所に改名
1998年 (平成10年)	10月 東京工業品取引所先物市場の一次会員に加入 12月 四国事業所ISO9002認証登録
1999年 (平成11年)	10月 河井國士が四代目社長に就任
2002年 (平成14年)	3月 四国事業所ISO14001認証登録 7月 当社子会社を統合し太陽テクノサービス株式会社を発足
2003年 (平成15年)	8月 常圧蒸留装置設備能力120,000バーレル/日に増強 10月 太陽石油化学(株)設立 12月 三井化学(株)より山口スチレン工場買収
2004年 (平成16年)	1月 山口事業所を開設 12月 当社子会社を統合し太陽石油販売株式会社を発足
2006年 (平成18年)	6月 岡 豊が五代目社長に就任
2008年 (平成20年)	3月 四国事業所新事務所竣工 9月 創業100周年 新ブランド「SOLATO」の立ち上げ、シンボルマーク発表、SSデザイン刷新 12月 新陸上出荷設備竣工



## 商 号 太陽石油株式会社 Taiyo Oil Company, Limited

役員体制	取締役	代表取締役 岡 豊
	代表取締役	吉井 伸吾
	取締役	荻野 淳
	取締役	中山 信二
	代表取締役	佐々木 輝明
	取締役	山本 喬大
監査役	監査役	小川 清文
	監査役	美藤 東
	監査役	若木 裕
執行役員	社長執行役員 岡 豊	
	専務執行役員 吉井 伸吾	
	常務執行役員 荻野 淳	
	常務執行役員 中山 信二	
	常務執行役員 佐々木 輝明	
	常務執行役員 尾崎 正典	
	常務執行役員 松浦 孝寿	
	執行役員 公文 英雄	
	執行役員 日野 晋吾	
	執行役員 村上 幹夫	
	執行役員 檜垣 昌司	
	執行役員 北島 隆広	
	執行役員 渡辺 守	
	執行役員 田淵 祐輔	
	執行役員 稲田 文	
	執行役員 池辺 儀一	
	執行役員 船木 保宏	
	執行役員 鈴木 崇志	
	執行役員 石川 純一	
	執行役員 山川 哲央	
(2022年11月1日現在)		

従業員数 750名(2022年4月1日現在)

資本金 4億円(2022年3月31日現在)

設立年月日 1941年2月27日

事業内容 ●石油の輸出入業、精製業及び販売業  
●ベンゼン、キシレン等の石油化学系基礎製品の  
製造、加工および販売

主要取引先 サウジアラムコ(サウジアラビア) 三菱商事  
ブルネイシェル(ブルネイ) 三井物産  
ペトロナス(マレーシア) 三井化学  
石油資源開発 Lotte Chemical  
INPEX 東ソー  
兼松 住友化学  
阪和興業

主要銀行 日本政策投資銀行

三菱UFJ銀行

TEL 089-943-5252(代表)

三井住友銀行

みずほ信託銀行

TEL 098-917-5739(代表)

みずほ銀行

三井住友信託銀行



● 本 社 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル15F  
TEL 03-3502-1601(代表)

● 四国事業所 〒799-2393 愛媛県今治市菊間町種4070-2  
TEL 0898-54-2500(代表)

● 山口事業所 〒759-0205 山口県宇部市大字西沖ノ山字西沖13-3  
TEL 0836-41-4154(代表)

● 中日本支店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル7F  
TEL 06-6366-1012(代表)

● 中 国 支 店 〒730-0016 広島県広島市中区幟町13-11 明治安田生命広島幟町ビル7F  
TEL 082-211-4488(代表)

● 九 州 支 店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-24 大博センタービル11F  
TEL 092-415-1255(代表)

● 四 国 支 店 〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-14-7 フジコビルF 5F  
TEL 089-943-5252(代表)

● 石油事業部 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング 7F  
TEL 098-917-5739(代表)

## 関連会社

### 国内

#### 太陽テクノサービス株式会社

本 社	愛媛県今治市菊間町種4070-2
設 立	1960年8月
資 本 金	9,500万円
営 業 内 容	海陸運輸業、石油受入払出業、建設請負業
T E L	0898-54-4800(代表)

#### 旭陽タンカー株式会社

本 社	東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル 4F
設 立	1969年3月
資 本 金	7,000万円
営 業 内 容	海運業
T E L	03-3580-6928(代表)

#### 太陽石油販売株式会社

本 社	愛媛県松山市宮田町186番地4 松山駅前ビル6F
設 立	1970年2月
資 本 金	8,500万円
営 業 内 容	石油製品販売業、自動車整備事業、損害保険代理店業
T E L	089-904-9200(代表)

#### 日本地下石油備蓄株式会社

本 社	東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー
設 立	1986年5月
資 本 金	2億円
営 業 内 容	石油備蓄基地の運転および保守管理の受託
T E L	03-3432-2155

#### 南西石油株式会社

本 社	沖縄県中頭郡西原町字小那霸858
設 立	1968年5月
資 本 金	1億500万円
営 業 内 容	石油受入払出業、油槽所管理運営
T E L	098-882-9555(代表)

#### 太陽インターナショナル プライベート リミテッド(Taiyo International Private Limited.)

本 社	20 Anson Road, #09-03 Twenty Anson Singapore 079912
設 立	1979年10月
資 本 金	S\$150万
営 業 内 容	原油・石油製品の販売、輸出入
T E L	Singapore (65)6222-2912(代表)

### 海外

## 関連会社出資比率

